

令和4年度 東浦小・中学校の教育活動についてのふりかえり

2月末には 学校評価のアンケートへのご協力をいただきましてありがとうございました。同じ時期に児童・生徒に実施したアンケートの結果とともに、今年度の本校の取組についてお知らせいたします。今年度、十分に達成できた項目については来年度も引き続き継続できるように、また、十分に達成できなかった項目については改善を図っていきたく考えています。いただいたご意見を参考に、子どもたちの成長と幸せを第一に考えながら、よりよい学校にしていくために努力をしてまいります。今後とも、地域、保護者の皆さまの変わらぬご協力やご支援をよろしくお願いいたします。

【確かな学力】

○学びを楽しむ児童生徒90%以上

- ・授業はよく分かる
【小・中】100%
- ・授業中、よく聞き考えて自分の意見を発表している
【小】100% 【中】90%
- ・タブレットを使っての学習は楽しい
【小】94% 【中】100%
- ・先生は、分かりやすく教えてくれる
【小・中・保護者】100%

○学力調査での正答率 全教科県平均以上

「全国学力調査」「福井県学力調査(SASA)」 小・中ともに達成

○ICTを活用した他校との交流学习 3回以上

【小】熊川小学校2回 【中】東大みかん愛好会2回

○指導力向上等の校内研修の実施 5回以上

・授業研究会、指導案検討会、ピアサポート研修会、授業改善研修会、リアクションタイム研修会等7回

100%の児童生徒が、「授業がよく分かる」「先生は、分かりやすくていねいに教えてくれる」と答えており、「学力が身につけている」と答えた保護者の割合も96%と伸びています。少人数に対応したきめ細かな指導、個別指導、タブレットを活用した個別最適な学びを実践してきたことが、成果となって現れてきています。来年度も、個に応じた学習指導を大切にしながら、よく分かる授業づくりに努めていきます。

【豊かな心】

○学校が楽しい児童生徒90%以上

- 【小】81% 【中】100%
- ・みんなと一緒に遊んだり活動したりすることは楽しい
【小】94% 【中】100%
- ・先生は自分の良いところやがんばっているところを認めてくれる
【小】94% 【中】100%

○新規の不登校児童生徒数0人 【小・中】0人

○進んであいさつができる児童生徒90%以上

【小】94% 【中】100% 【保護者】89% 【地域】100%

○図書館の貸出冊数一人平均30冊以上

【小】一人平均59冊 【中】一人平均16.5冊

中間評価では、「学校は楽しい」に肯定的回答をしている児童が73%、生徒が92%にとどまりました。改善策として、「みんなと一緒に活動する場面を多く取り入れること」や「自分は認められていると感じられる居場所づくり」を大切にしてきた結果、「学校が楽しい」と肯定的に回答する児童生徒が増えたと考えられます。今年1月より実践している、人とかかわる力を育む「リアクションタイム」や、来年度より実践を計画している「ポジティブ教育」を充実させ、自己肯定感をさらに高めていくことが大切であると考えています。また、学校生活の中心である授業を、「よく分かる」とともに「楽しい」と感じられることを目指した授業改善を進め、児童生徒の主体的な学びの姿勢を引き出し、個別最適な学びを実現させて、学習面と生活面の両面から、楽しい学校づくりに努めていきます。

また、ご家庭とも連携しながら、読書意欲の向上や読書習慣の育成を目指し、豊かな人間形成を図っていきたく考えています。

【たくましい体】

- 安全に注意しながら生活できる児童生徒100%
 - ・学校のきまりや交通ルールを守って行動している
 - 【小】100% 【中】100%
- スポーツテスト県平均オーバー種目数60%以上
 - 【小】全国オーバー45% 【中】全国オーバー70%
- 「君を守ルール!!!!!!(東浦版)」の遵守率90%以上
 - 【小】100% 【中】60%
 - 【小保護者】64% 【中保護者】45%
- 早寝・早起き、しっかり朝食ができています90%以上
 - 【小】88% 【中】90%
 - 【小保護者】93% 【中保護者】73%

学校では、SNSルールを遵守させる指導を行っており、「守っている」と答えた児童生徒は全体で83.4%いるものの、保護者の肯定的回答率は全体で54.1%であり、評価が一致していないことが分かります。依存症によって起こる健康被害や、SNSが引き起こす犯罪等、SNSルールができた背景や意味を捉えさせる指導や、外部専門機関とも連携した指導を継続して行いながら、SNS使用のためのルールを主体的に考えられるようにしていく必要があります。

【家庭・地域との連携】

- ふるさとへの愛着を持つ児童生徒90%以上
 - ・地域のためになる活動に取り組んでいる 【小】88% 【中】90%
 - ・学校は地域のためになる教育を進めている 【保護者】100% 【地域】100%
- 学校からの情報発信に満足の保護者90%以上
 - ・「ホームページ」「蜜柑の丘」「学級通信」等で学校の教育活動や子どもの様子がよく分かる 【保護者】100% 【地域】100%
- ボランティア参加者数年間延べ150人以上→166人
- 地域人材や地域素材の活用3回以上→5回（阿曾相撲甚句、読ボラ、モルック、さつまいも、己書）

保護者や地域の皆様から、「学校は地域のためになる教育を進めている」「学校からの情報発信により、学校の教育活動や子どもの様子がよく分かる」との回答に100%の評価を得ました。オープンスクールやボランティア活動などの機会を捉えて、積極的に学校に足を運んでくださった保護者や地域の方も多くいらっしゃいます。今後も学校と地域とのつながりを大切にした学校づくりを進めていきます。